



これまでの「輝け！おばねっ子」は上のQRコードからご覧いただけます

～尾花沢の未来をひらくいのち輝く人間の育成～

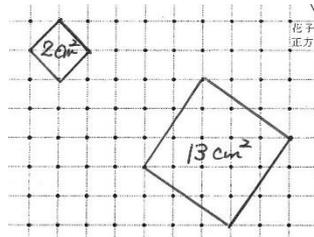
※毎週月曜日発行予定です

本来、学習とは面白く、面白いから好きになる

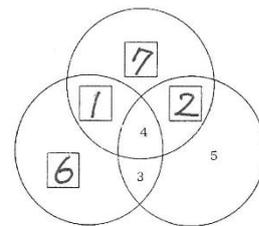
前号までで「算数・数学を通して、考える面白さに触れてみませんか」のテーマで、「算数・数学チャレンジ in やまがた」の問題の一部を紹介しました。前回の問題の解答は右のとおりです。

注目したいのは、「面白い！」「楽しい！」というご意見を頂戴するなど、予想外に反響が大きかったことです。本来、学習とは面白く、面白いから好きになるのです。

7月22日の日本教育新聞「こころに響く校長講話」（京都市立御所南小学校：鈴木登美代校長）に、昨年度の「輝け！おばねっ子」第64号で取り上げた大村はまさんの「優劣のかなたに」という詩が載っていましたので、次に紹介します。



- (1) 1番重い玉：白玉
- 1番軽い珠：赤玉
- (2) 10個



優劣のかなたに（一部抜粋）

学びひたり

教えひたっている

それは優劣のかなた。

ほんとうに持っているもの

授かっているもの

を出し切って、

打ち込んで学びひたり

教えひたっている

そういう世界。

優劣を論じあい

気にしあう世界ではない。

学ぶ楽しさ、喜びを、これ以上ないくらい表現した素晴らしい詩であるとは思いませんか。

鈴木校長は、この詩をもとに次のように述べています。

大きく変化する社会の中で生きる子どもたちは、人と比べて優劣を感じるのではなく、「自分」をしっかりと見つけ、自分を大切にし、違う他者を受け入れて生きてほしいと感じました。

ここで、小中学生に質問です。

■「打ち込んで学びひたり」⇒「自分」をしっかりと見つけ

授業や家庭学習で課題を解決するときに、自分の持つ知識や技能を総動員して（脳に）汗をかきながら考えたり、理解に努めたりしていますか？（学習に一生懸命取り組むとおなかがすきます。体を動かしておなかがすくのと同じです。）

■「教えひたっている」⇒自分を大切にし、違う他者を受け入れて

自分とは異なる友達の考えを真剣に耳を傾けて理解し、自分の考えをより広げ、深めようと努めていますか？（自分の力では到達できなかった考えを友達に教えてもらったり、友達に教える機会を通して自分の理解を深めることができたり…。このような活動を通して生まれるであろう友達に感謝し大切にすることは、自分を大切にすることにもつながります。）

学習の面白さを感じ、好きになることで、人が育つことにつながるのです。

【担当】尾花沢市教育委員会こども教育課
教育指導室長 工藤 雅史
TEL 23-3330